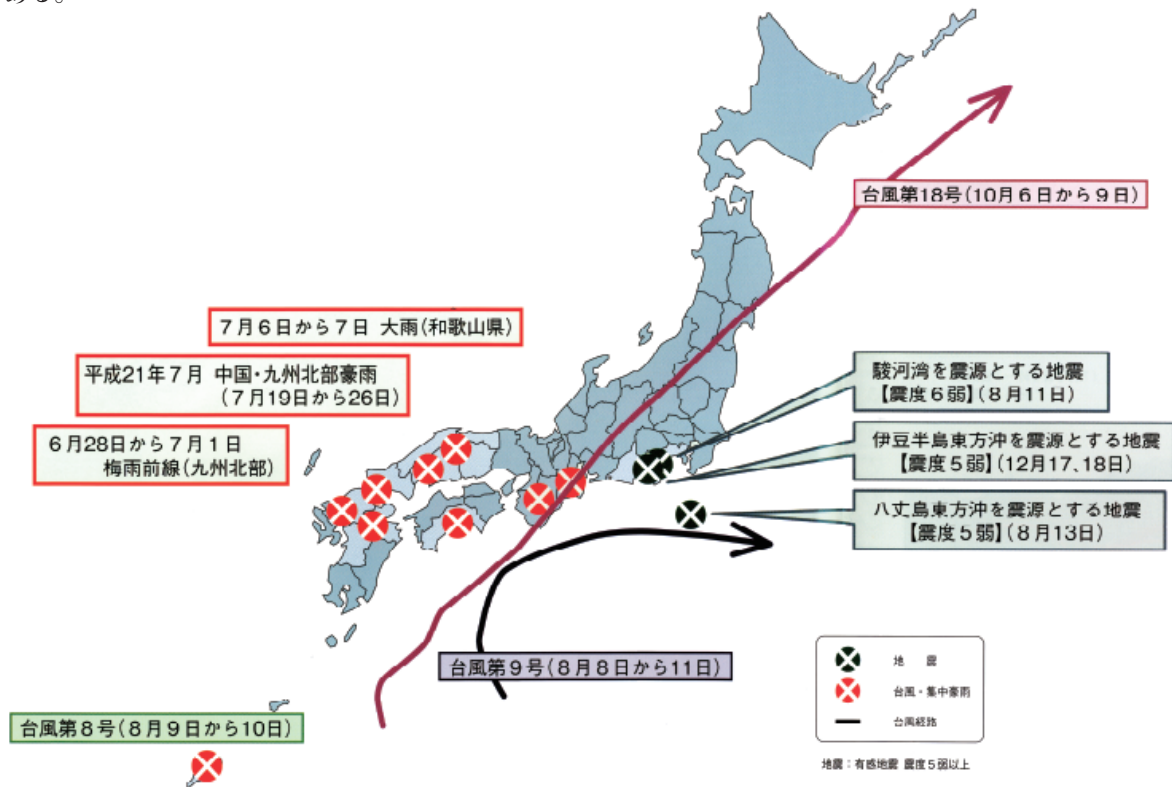


# 1 平成 21 年発生災害について

## (1) 平成 21 年発生災害の概要

平成 21 年発生災害に係る国土交通省所管公共土木施設の被害は、直轄で約 77 億円 (83 箇所)、補助で約 1,150 億円 (10,527 箇所)、合計約 1,227 億円 (10,610 箇所) が報告されている。(平成 22 年 1 月 29 日現在)

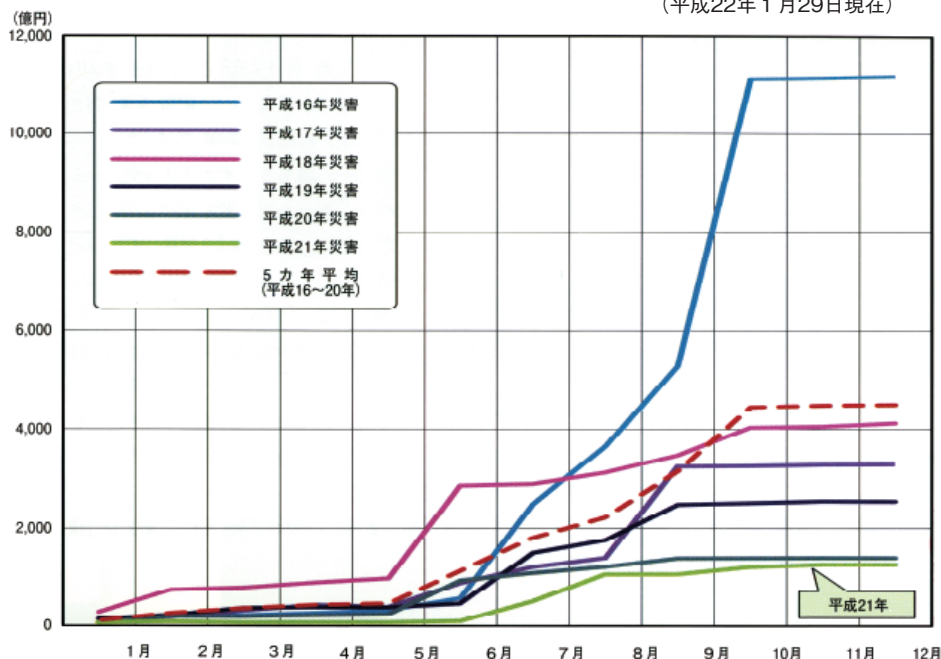
主な災害原因としては、7 月 19 日から 26 日にかけて山口県、福岡県など主に中国・九州地方に被害をもたらした「平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨」、8 月 8 日から 11 日に主に兵庫県、岡山県に被害をもたらした「台風第 9 号」、8 月 11 日に震度 6 弱を観測した駿河湾を震源とする地震、10 月に東海地方から東北地方を縦断した「台風第 18 号」などがある。



平成 21 年災害発生における主な異常気象

### 累積被害報告額の推移

(平成22年1月29日現在)



## (2) 主な平成 21 年発生災害の概要

### ①平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨による被害状況等について

7 月 19 日から 21 日にかけて、山陰沖から近畿地方を通過して東海地方にのびる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。また 24 日から 26 日にかけて、九州北部地方から山陰、北陸地方を通過して東北地方にのびる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、再び前線の活動が活発化した。

19 日から 26 日までの総雨量は、福岡県太宰府市太宰府で 636.5 ミリ、山口県防府市で 549 ミリとなり、場所によっては、この期間の雨量が 7 月の平均降水量の 2 倍近くになった。

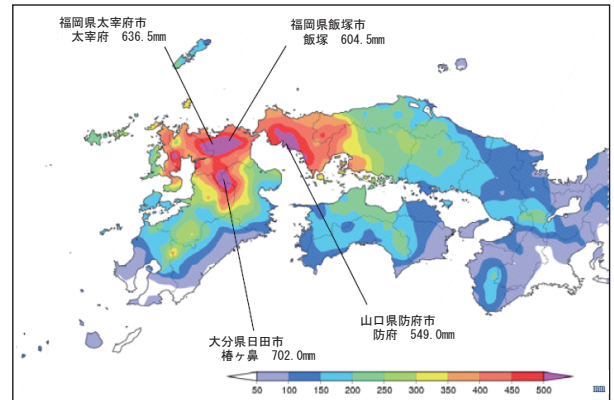
この大雨により、各地で浸水被害や土砂災害が発生し、死者 33 名、負傷者 59 名の人的被害を受けた。

特に山口県防府市、山口市では局所的に大規模な土石流が発生し、住宅や老人福祉施設が直撃されるなど、甚大な被害を受けた。

また、国土交通省所管の公共土木施設については、3,664 箇所、約 294 億円の被害が発生した。(直轄・補助計)

○一般被害 (消防庁調べ：平成 22 年 3 月 16 日 14:00 現在)

死者 (人)	行方不明者 (人)	負傷者 (人)	住家全壊 (棟)	住家半壊 (棟)	一部破損 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)
33	0	59	52	99	231	2,137	9,727



期間降雨量分布図 (7 月 19 日～26 日)

[出典：気象庁発表資料]



国道 262 号上勝坂橋  
(山口県防府市)



土石流による被災状況  
(防府市真尾地区)



九州自動車道  
(福岡県大野城市)



武雄伊万里線  
(佐賀県伊万里市)



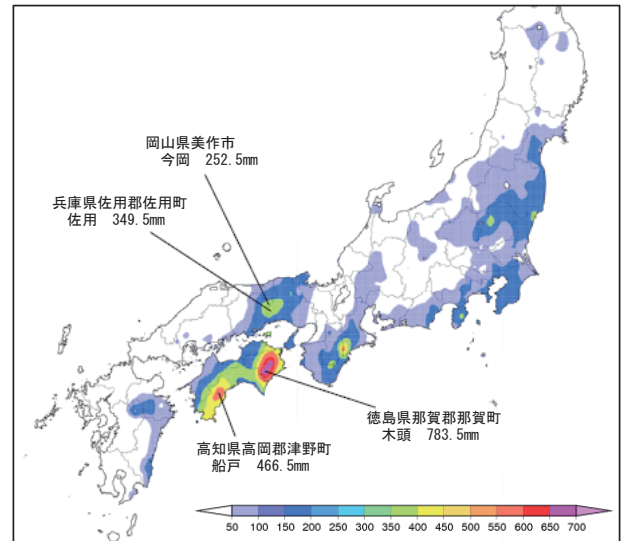
## ②台風第9号による被害状況等について

8月8日に日本の南にあった熱帯低気圧が9日21時に台風第9号となり、紀伊半島の南海上を北に進み、この熱帯低気圧及び台風の周辺の非常に湿った空気の影響で、中国、四国地方から東北地方にかけて大雨となった。

8日15時から11日15時までの総雨量が徳島県那賀町(なかちょう)木頭出原(きとういずはら)で783.5ミリ、兵庫県佐用町佐用で349.5ミリ、岡山県美作市今岡で252.5ミリを観測するなど、四国地方で降り始めからの雨量が700ミリを超えた所がある。

この大雨により、東北から関東、四国にわたる幅広い範囲で浸水被害や土砂災害が発生し、特に兵庫県の佐用川では溢水・氾濫が生じ、県内で床上浸水335棟、床下浸水1,494棟の住家が浸水するなどの被害が生じた。

また、国土交通省所管の公共土木施設については、3,234箇所、約531億円に上った。(直轄・補助計)



期間降雨量分布図(8月8日～11日)  
[出典：気象庁発表資料]

### ○一般被害(消防庁調べ：平成22年3月15日 19:00現在)

死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	住家全壊(棟)	半壊(棟)	一部破損(棟)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)
25	2	23	183	1,130	33	973	4,692



二級河川佐用川  
(兵庫県佐用町)



(主)一宮生野線  
(兵庫県宍粟市)



市道新井旧国道線 新橋  
(兵庫県朝来市)



二級河川山家川  
(岡山県美作市)

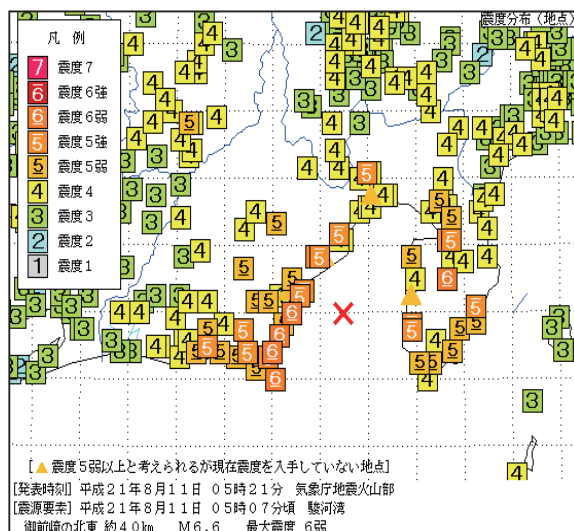


### ③駿河湾を震源とする地震による被害状況等について

8月11日 5時7分頃駿河湾（北緯34度47.1分、東経138度29.9分）を震源とする深さ23 km、マグニチュード6.5（暫定値）の地震が発生し、静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎市で震度6弱を観測した。

この地震により、東名高速道路の法面路肩が約40 mにわたり崩壊したほか、各地で被害が発生し、交通機関に混乱が生じた。

国土交通省所管の公共土木施設については、32箇所、約8億円の被害が発生した。（補助）



震度分布図 (H21.8.11)  
[出典：気象庁発表資料]

○一般被害（消防庁調べ：平成22年3月12日15:00現在）

死者（人）	負傷者（人）	住家半壊（棟）	一部破損（棟）
1	319	6	8,672



東名高速道路上り線  
（静岡県牧ノ原市）



相良港  
（静岡県牧ノ原市相良）



駿府城石垣  
（静岡県静岡市）



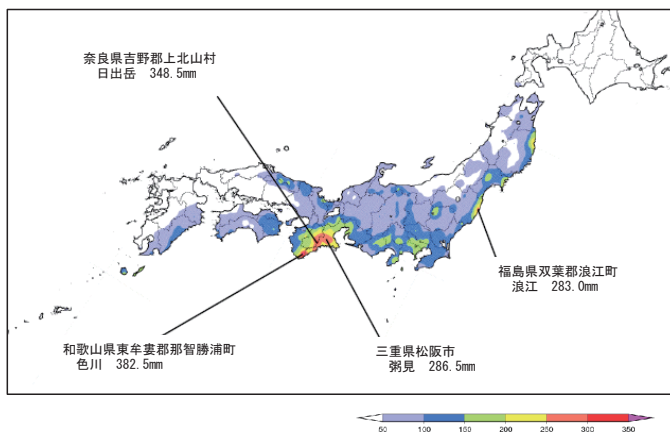
## ④台風第18号による被害状況等について

9月29日にマーシャル諸島付近で発生した台風第18号は、10月6日に進路を北寄りに変え、非常に強い勢力のまま南大東島の南へ進んだ。7日には四国南海上を北東に進み、8日5時過ぎに愛知県知多半島付近に上陸した。

その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を縦断し、8日17時過ぎに太平洋に達した。

この台風による大雨及び暴風により、愛知県東海市東海で8日5時48分までの1時間降雨量が83.5ミリの猛烈な雨が降ったほか、和歌山県那智勝浦町色川では8日3時50分までの24時間降雨量が365.5ミリを観測するなど南西諸島から北日本の広い範囲で大雨となった。

国土交通省所管の公共土木施設については、1,187箇所、約139億円の被害が発生した。(直轄・補助計)



期間降雨量分布図（アメダス10月6日～8日）  
[出典：気象庁発表資料]

### ○一般被害（消防庁調べ：平成22年3月15日 19:00 現在）

死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	住家全壊(棟)	住家半壊(棟)	一部破損(棟)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)
5	0	137	9	89	4,567	572	3,065



一級河川照越川  
(宮城県栗原市)



二級河川日長川及び国道155号東橋  
(愛知県知多市)



(一) 佐倉御前崎港線  
(静岡県御前崎市)



一級河川中村川  
(三重県松阪市)